

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番

氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

(口をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員長

発言項目及び要旨

1・支え合う地域づくりとセーフティーネット機能の充実について (SDGs 3)

少子化の進行は予想以上である。そしてコロナ禍の後遺症によって、市民活動は停滞し地域の連帯感の希薄化は、さらに前進している。地域住民の関わりと協力なくして解決できないと考えている。改善への方策の一つ目に、まちづくりと自主防災組織の取組の推進を、二つ目には子育て世代を応援する仕組みづくりを、そして三つ目にハラスメントや虐待から人権を守る仕組みづくりの3点について、支え合う地域づくりとセーフティーネット機能の充実の視点から質したいと思う。

(1) まちづくりと自主防災組織のセーフティーネット機能の強化について

6/2 に各町内自治会や自主防災会では、住民全員参加の一斉清掃を行い、その後に昨年に引き続き、浜田市総合防災訓練にも参加をされている。訓練の安否確認等の活動を通して、新たに気づいた地域の課題について、その対応を質す。

① 引きこもる高齢者等の現状を問う。

② 就労外国人の自主防災活動への参画状況を問う。

③ 障がい者のグループホームが増えている。障がい者家族も含め、まちづくり委員会への参画の現状を問う。

(2) 子育てを応援する仕組みとセーフティーネット機能の強化について

共働きの世帯はますます増加し核家族化も進んでいる。子育てと共働きが両立できる「子育てしやすいまちづくり」には、子育てを応援する団体への支援の仕組みも必要と考える。1点目に地域が関わっていく子供会や子ども食堂の取組を、2点目に解体費を含め諸物価高騰から保育園建設に苦慮する施設への支援を、3点目に保護者のいない児童や虐待されている児童など、社会的な養護が必要な児童が生活する児童養護施設への支援の以上3点について質す。

① コロナ禍からさらに子供会など関わる環境の減退を感じるが認識を問う。

② 子ども食堂の取組が話題となっている。浜田市における状況を問う。

- ③ 近年、保育園等福祉施設の新耐震基準に合致させるための新築・改築が進められている。新しい保育環境の整備における市の支援を問う。
- ④ 島根県下には 3 か所の児童養護施設があり、石見にはその一つ聖喤寮があるが、浜田市の関わりを問う。

(3) ハラスメント・虐待防止のセーフティーネット機能の強化について

近年、ハラスメントや虐待などの記事が新聞等を賑わせている。議員活動を通して、地元においても他人事でなく、様々なところでハラスメントや虐待について市民からの相談を受けていることから、市の対応について質す。

- ① ハラスメントは、主に職場における権利侵害であり、心や脳が傷つくなど受け手に多大な苦痛を与えるものとされ、パワハラやカスハラなど多くの事例が示されている。市の対応を問う。
- ② 虐待は、いじめ、パワハラ、児童虐待、DV など、個人情報保護のもと、家庭や福祉施設などから表に出にくい事例が多いと思っている。相談体制を問う。